



第4号

早稲田大学
府中校友会
会長 松本三郎
編集責任者
新谷義克



府中校友会

十五周年に寄せて



会長 松本三郎

本年は、府中校友会が創立十五周年を迎え折り目の総会を開催する運びとなりました。現在市内在住の校友は千数百名を数え各分野に亘って活躍されている現況を先ずもってお喜び申し上げますとともに今後のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

母校早稲田大学は、新生早稲田出発のために献身的なご努力をされ数々のご功績を残された西原前総長が昨年十一月退

任なされ、後任に「大学はいつの時代でも信ずる道を進んで行く」と抱負をもった小宇宙丸新総長に継承され安泰の道を辿りつゝ二十一世紀に向って世界の教育向上に躍進して居りますことはご同慶の至りであります。

いま、府中校友会発足当時を顧みるとき、草創の中スタートに携われた方々のご熱意とご労苦に対しまして深く感謝の念を新たにするとところであります。その後発展をつゞけ現在校友の動静を見ますと新進の方が急増して実数の把握に担当幹事が苦心してはいますが、各位が常に早稲田精神を生かしての活動は各地域、各界に多くの業績を挙げられて居りますことは頼もしいことであります。

府中校友会がこのようにして発展の道歩んで居りますが、この陰には役員、幹事各位がお忙しい中を度々お集り願って運営についてのお智慧を出していただきて居りますことは感謝に堪えないところであります。今後は特に女性校友のご

参加を勧め、また各位からよりユニークなご意見などいたゞいて魅力ある会に育て、参りたいと期待して居りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



府中校友会

十五周年にあたり

八王子早稲田会会長 齊藤 芳孝

貴会々報「いなほ」に寄稿を、との御依頼を受け、誠に拙文ではございますがごあいさつを申し上げます。

いつも変らぬ、よどみのない御活動をされておる府中校友会諸兄弟姉に心からお喜び申し上げます。

思いますに都区以西における稲門校友会の組織は、すでに十八市におよび、他府県には見られない団結を誇っております。本当に御同慶の至りでございます。

そして毎年一回連合総会の開催をいたし、校友一同があい集い親睦を図り、側面からの母校発展に寄与できます事は、意義あることと思えます。

すでに貴支部も昭和五十二年に設立され十五年が経過致し、各支部の中心的存在として会員間の結束の確さには定評のある処でございます。

会長松本三郎学兄には常々敬意を表し公私共に御指導を頂き感謝致しております。

さて、私見でございますが一寸と遇考ですが述べさせていただきます。

前述のような十八支部に及ぶ稲門会に於て今後も支部設立の準備を致しておる地区もあるやに聞いておりますが、この機会に各支部間交流のあり方に一考する時が来た様に思われます。ある面では交流によって親睦は増しますが、反面儀礼的、形式的、表敬旺来になりつゝあるのもゆがめない処だと思われます。

此の際、例えば近隣支部間とか或いは数ブロックに分けてのコミュニケーションとかを計る方法も如何かと思われます。今後貴会が立地的にも各支部間の状況を熟知されておる面からも、イニシアチブをお取り頂き再考下さるならば、幸甚に思うところで御座います。

ながながと駄文を記しました。末筆ながら、府中校友会が益々の結束と親睦を計り、発展されますことを祈念して、ごあいさつと致します。

府中校友会

十五周年に寄せて

調布稲門会会長 林 貞夫

府中校友会創立15周年をお迎えするにあたり、松本会長はじめ役員及び会員皆様の絶え間ない努力に敬意を表すると共に、心からお祝いを申し上げます。

今年5月調布稲門会10周年には、会長はじめ多数の役員の方々のご出席をいただきお陰様で、無事終了することができ、まことにありがとうございます。

さて、府中と調布は地域が隣接しているばかりでなく、調布稲門会は松本会長の誠意あるご指導、ご尽力により生まれたので私達にとっては「生みの親」という存在であります。

三多摩連合会、総会、同好会など10年の交流で親睦を深めてまいりましたが、今後は地域の文化、スポーツ、福祉にも輪を広げて行きたいと思っておりますので、よろしくご指導、ご協力をお願いいたします。

終りに、貴会のみましますのご発展をお祈りいたします。

創立15周年おめでとうございます。

十五周年をお祝いして

学縁・地縁の喜び

昭島稲門会会長 内田 順也

歴史の都、府中市校友会が15周年を迎えられたこと、まことにおめでとうございます。心からお喜び申しあげます。

文化の香り高い府中市にあって、ユニークな活動を展開され、今日の発展を築いてこられた府中校友会は、私ども若輩稲門会のよき先達者であり、希望の光でもあります。

仏教の基本に「因縁生起(縁起)」という教えがあります。早稲田という因に生れ、府中市という縁に結ばれた校友会のみなさまが、これを大切な宝とされ、自利利他の喜びづくりへ精進されますことを念願いたします。

私事で恐縮ではありますが、府中市は教壇生活第一歩の地であり、生徒とともに歩むべき姿勢を教えられた因縁深い思い出の所でもあります。

府中の森にこだまする都の西北の校歌が、府中校友会の発展の新しいエネルギーとなることを祈念しお祝いの文とさせていただきます。

府中校友会創立15周年記念

早稲田大学エクステンション講演会開催

府中校友会では創立十五周年を記念して、早稲田大学と共催、府中市教育委員会の後援のもと来たる十一月二日(土)に、府中の森芸術劇場に於いてエクステンション講演会を開催します。当日の詳細プログラムは左記の通りですが、目玉は加藤諦三理工学部教授による記念講演「アメリカインディアンの教え」です。これはアメリカインディアンの社会の中で「子供たちはこうして生きかたを学びます」という内容で、社会心理学者として有名な同教授が、昨夏、ニッポン放送出版から同名の本を出版され、ベストセラールになっていきます。現代の私達の社会にも相通じる点が多々あり、素晴らしい講演になると期待されます。

エクステンション講演会は、校友はもちろん広く一般の方々へ早稲田大学を理解してもらおうという主旨で数年前より、全国各地で公開講座として開催されております。入場は無料ですので沢山の方々にご来場されますようお願い致します。

プログラム

P.M 0:30~1:50 在学生父母会
(ふるさとホール)

P.M. 1:00~1:50 府中校友会総会
(平成の間)

P.M. 2:00~4:30 エクステンション講演会
(ふるさとホール)

○映画

「早稲田大学 21世紀への序章」

○小山総長講話

○記念講演

「アメリカインディアンの教え」

講師：理工学部教授
加藤 諦三 先生

P.M. 5:00~7:00 懇親会
(平成の間)

◎なお、P.M.2:00~4:30までは別途、在学生父母の希望者を対象とした個別面談が、平成の間で開催されます。これは大学側より教学及び就職担当の各専門職員が派遣され、父母の個別質問に答える主旨で開かれるものです。

問い合わせ先

府中校友会事務局(福井ビル内)

TEL 0423-64-8895

三多摩稲門会連合役員会

「納涼のついで」

去る八月二十八日(水)に、青梅市沢井の「勝仙閣」(通称/ゆずの里)に於いて掲記会合が開催され、当校友会からは松本会長、福永副会長、山口会計、福井事務局幹事の四名が出席しました。

当日は残暑が厳しかったのですが、さすがに東京もここ奥多摩の地まで来ると溪谷を渡る風にも秋の気配を感じました。三多摩稲門会連合代表として当校友会松本会長の挨拶に始まった連合役員会は小山総長、石黒校友会代表幹事のご挨拶と続き、事務連絡の後、懇親会が開かれました。各地区稲門会・校友会出席者紹介では福永副会長が当会の出席メンバーの紹介がたがた、十一月二日に開催予定のエクステンション講演会のPRを行ない、府中の森芸術劇場にこの機会に是非行ってみたいという声も多く聞かれました。

勝仙閣の藤崎社長は校友で元ウェイトリフティング部の主将でもあった熱血漢、奥様共々大変心のこもった接待を受け、出席者全員感激しておりました。アットおどろく余興等もとび出し、盛況裏のうちで散会となりました。(事務局F記)

私と府中校友会

昭54教 戸部 範一

私が『府中』という町と本格的に付き合い出したのは、今から十年前に府中市立府中第八中学校に勤務してからで、その3年後、結婚して本市に転居してきて晴れて市民となり、さらに『府中』を身近なものに感じるようになりました。また府中校友会を知ったのはその翌年、ですから私は全くの新参者ということになります。私と府中校友会との出会いは、私が府中第八中学校で指導していた吹奏楽部の活動を通してでした。今から6年前、当時、中央文化センター所長でいらした山口政行氏に「桜まつり」への参加を依頼されたのがきっかけです。その中で校友会の存在を知り、私も参加させていただくようになったのです。

私の府中での十年間の教育活動は吹奏楽部が柱でした。そのような私が吹奏楽部を引き連れて活動していった場所には必ずと言って良いほど、校友がおられました。特に、「福祉まつり」ではかなり多数おられました。そのような校友の活動を見て、私は誇りに思いました。また、松本三郎会長は私たちの演奏会

わざわざ楽屋まで訪ねて来てくださって励ましの声をかけてくださったりもしました。このように今思うと、校友会の皆様にはずいぶんと支えられていたな、と感じます。また、部員の中には校友の子弟も何人かいました。その方々もずいぶん私の教育活動にご理解くださいました。

なお、私は今春、新宿区立戸山中学校に転動しましたが、この学校は早稲田大学理工学部の正門のすぐ前にあり、現在私がコーチをしています早稲田大学応援部練習場のすぐ近くにありますが、偶然とはいえ、何か因縁を感じます。

校友の声

私のリラクゼーションは……

58文 平野 啓子

最近、リラクゼーションスペースとして、ストレス解消を目的にした場所が都内の各地に出現している。新宿の超高層ビル内の座禅教室、フラワーアレンジメントの教室で行う「瞑想の時間」など。また、ヘッドホンからのパルス音を聞きながら睡眠するスペースの利用券が、お

中元等のギフト券になったりもしている。NHKの仕事で取材に行った時、瞑想や睡眠のためにまでお金をかけなければならぬ時代なのかと驚いた。が、考えてみれば、都会で瞑想できる空間などほとんど無いので、そこに人が集まるのもわかる。私も仕事柄いつも情報に囲まれていて、新しい動きに対応しなければならぬので、頭が無理矢理回転させられている。今までの人生のほとんどを、常に眠りに近い状態で過ごしてきた私にとっては、脳を酷使しているようなものだ。どうやって、都会にいながら頭をカラッポにするか。これは、今の私の重要課題。だから最近、私は人に会うごとにストレス解消の方法を教えるもらっている。スポーツ、歌、お酒など、人によって方法は様々。中には鎮静効果があるといわれる「α波」や「チ分の1のゆらぎ」なる音楽を紹介してくれたり、「安らぎ」について書かれた本をくれた人もいた。私は、素直にそれらの好意を受け入れて、実践している。が、この間、ある人から「恋人の肩にもたれれば、簡単に休まるわよ」と教えられた。そうか、それだーと、素直に納得したものの……こればかりは……。ああ、かえって課題がひとつ増えてしまった。

府中校友会第1回コンペ

91.5.30 於 桜ヶ丘C.C

name	out	in	to tal	HXC	net	
小沢 俊夫	51	49	100	22.8	77.2	8位
渋谷 正興	46	47	93	16.8	76.2	6位
千年原 聡	72	59	131	36	95	14位
千年原 操	54	51	105	30	75	3位
柴田 正臣	48	47	95	18	77	7位
細貝 光宏	57	55	112	30	82	12位
吉野 征垂	57	54	111	32.4	78.6	9位
佐藤 昌子	52	49	101	21.6	79.4	10位
小沢 早苗	52	48	100	24	76.0	5位
手塚 歳久	52	55	107	31.2	75.8	4位
板橋 隆	58	50	108	34.8	73.2	準優勝
吉田 政史	57	62	119	36	83	13位
阿部 哲也	57	53	110	28.8	81.2	11位
新谷 義克	44	44	88	15.6	72.4	優勝 ^B
横田 富康	64	70	134	36	98	B.B
新井 鐘二	78	84	162	36	126	B.M

ニヤピン 新谷・柴田・手塚・吉田
 ドラゴン 小沢早・吉田・阿部
 ベスグロ 新谷

同好会だより

ゴルフ同好会コンペ開催の巻

昭35法 小沢俊夫

去る五月三〇日(休)桜ヶ丘カントリークラブにおいて、府中校友会ゴルフ同好会第一回ゴルフコンペが開催されました。四組一六名で、必ずしも顔馴同士ばかりではなかったのが最初こそ雰囲気もやや、困いものを感じましたが、それがその同じ稲門であるうえ、ゴルフ同好の士の集り故知らぬ間に和気あいあいとなり、楽しいラウンドをすることが出来ました。

競技後、クラブハウスでパーティが行われたが一人も欠けることなく、散会が惜しまれるほど話はずんだことでした。年内にもう一度開催しようとの声があがり、賛同者多数のため、幹事は次回を十月十七日(休)桜ヶ丘カントリークラブと決めました。第二回開催が楽しく待たれるところです。

なおゴルフ同好会は昨年の総会の際、発足が提案され、同日入会希望者に住所氏名のご記入を願ひ、これをもって発足いたしました。現在二十三名で、コンペのご案内はの方々に行っております。ゴルフ同好の士は幹事までご連絡下さ



れば同好会名簿に登載して、以降ご案内を差し上げます。
 幹事 小沢俊夫 ○四二三一六四一六七〇一 府中市天神町四一三三三三二

ソフトボール同好会

昭50 社会 藤田博久

我が校友会唯一の市外対抗試合活動を行なっているソフトボールクラブも今年で四年になりました。八王子・立川・国立・府中・調布との五市対抗や調布稲門会、調布三田会との対抗、そして渋谷との試合等、年間六回以上と第一、第三日曜日の早朝七時〜九時迄練習等、なかなか活発に活動をしております。

八月三十一日は渋谷との対抗試合を渋谷区スポーツセンターにてナイターで行ないましたが成果はいまいちでした。二試合を行ない、一回戦は八対八で引き分け、スコアは次のようになりました。

一川西五ホセ
0041012
五子多摩 1005200 です。

みんな、あとになって六回でやめておけば良かったなあと残念がりました。参加者はつぎの人たちでした。

古書店の新井さん、N.T.T.の加藤さん、不動産屋の中島さん、福井ビルの福井さん、早大助教授の宮崎さん、薬品会社の林さん、タウン情報紙を発行している、多摩市の田井さん、新宿区、区会議員の久保さんと私こと藤田の九名です。試合後、九時半頃から近くの居酒屋 集

まり会談をして、次回の健闘を誓い合いました。新宿区議会議員を七期つとめている久保さんは、軟球の試合はよくやるのですが、ソフトは初めてだそうで、ソフトボールがこんなにも楽しいものだとは知りませんでしたと、大喜びで語っておられました。また是非さそってくれとの事でした。府中駅についた頃はすでに十一時を過ぎておりました。次回は十月十日(日)二子多摩川園のグラウンドで一時から渋谷とやる予定しております。

ソフトボールは誰れでも出来るスポーツであり、老若男女を問わず、気をつけてやれば、安全で、素晴らしいスポーツであると思います。適度な運動と、自己管理により、長く出来るスポーツであり、チームワークという連体意識も生まれ、人間形成にも役立ち、一番良い事はお金がかからないスポーツであります。バットとボールがあり野原があれば良いのですから経済的です。会費を集めて、校友会から予算をもらって何を買おうかと考えると、何も買う必要がない訳であり、だいたい仲間達が、それぞれ勝手に出しあって運営されています。ボランティア活動みたいなものです。試合は、和気あいあいの中にも緊張感があり、打とうという意気込みも熱中の中に感じられます。

気楽に楽しめるスポーツとして、今後発展に努力をしてまいりたいつもりであります。十一月になったら八ヶ岳へ合宿練習をする予定で御座居ます。参加をしたい方は、誰れでもかまいません。男女、子供等は是非参加下さい。

編集後記

皆様の御協力により「いなほ」も4号を発行することができました。十一月開催の創立十五周年総会に向けて運営、名簿作成、会報発行等幹事の皆様ボランティアで大奮闘です。物質万能、経済効率遂求の時代にこの様な同窓会活動というのは熱き青雲の志燃えてたころの様なさわやかな印象を受けます。これからは物の豊かさを求める時代より心の豊かさを求める成熟した時代を迎えつつあります。現在世界には約五十億の人が住んでいますが人間一生の間におつき合いできる人の数は限られており意外に少ないものです。青春時代ワセダの杜に共通の想い出をもつ人達が利害関係なしにコミュニケーションをもてることは大変幸せなことだと思います。一期一会、会員相互の関係を大切にして校友会を益々発展させていきたいものです。

(新谷 記)